



平成20年4月21日

各位

会社名 名古屋鉄道株式会社
代表者名 取締役社長 木下 栄一郎
コード番号 9048
上場取引所 東証・名証各第一部
問い合わせ先 取締役監理部長 加藤 敏彦
TEL 052-588-0846

特別損失の計上並びに通期業績予想（個別）の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上する見込みでありますので、その概要をお知らせするとともに、業績動向を踏まえ、平成20年2月14日に公表いたしました平成20年3月期通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

1 特別損失の計上について

当社は、平成20年3月期の個別決算において、保有する100%子会社の株式会社名鉄百貨店株式に対して投資評価引当金繰入額64億円を特別損失に計上いたします。同社は昨年3月に本店3館一体化改装等を行い業績向上に努めておりますが、当期において改装経費の一括償却や新しい会計基準の適用などにより財政状態が当初計画から悪化いたしました。当社では、同社の業績は回復すると判断し減損処理を行うには至っておりませんが、健全性の観点から同社株式に対して引当金を設定することといたしました。なお、連結子会社に対する引当金であるため、連結業績においては当該損失の計上はありません。

2 平成20年3月期通期業績予想（個別）の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円、%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	105,000	15,100	9,900	8,000
今回発表予想 (B)	105,900	16,700	12,600	8,600
増減額 (B-A)	900	1,600	2,700	600
増減率	0.9	10.6	27.3	7.5
(参考) 前期実績	104,410	19,467	15,595	7,636

3 修正の理由

不動産分譲において、売上高が当初見込みを上回り増益となるほか、支払利息等の金融費用が減少することで、営業利益及び経常利益がともに増加する見込みであります。また、上記の特別損失の計上はありますが、経常利益の増加のほか、固定資産売却益などの特別利益の増加や関係会社に係る特別損失の減少などにより、当期純利益についても当初の予想を上回る見込みであります。なお、連結の業績予想については前回公表から修正はありません。また、平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想については現在集計中であり、決算発表時に配当予想と合わせて発表する予定であります。

上記予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想と異なる結果となる場合があります。 以上